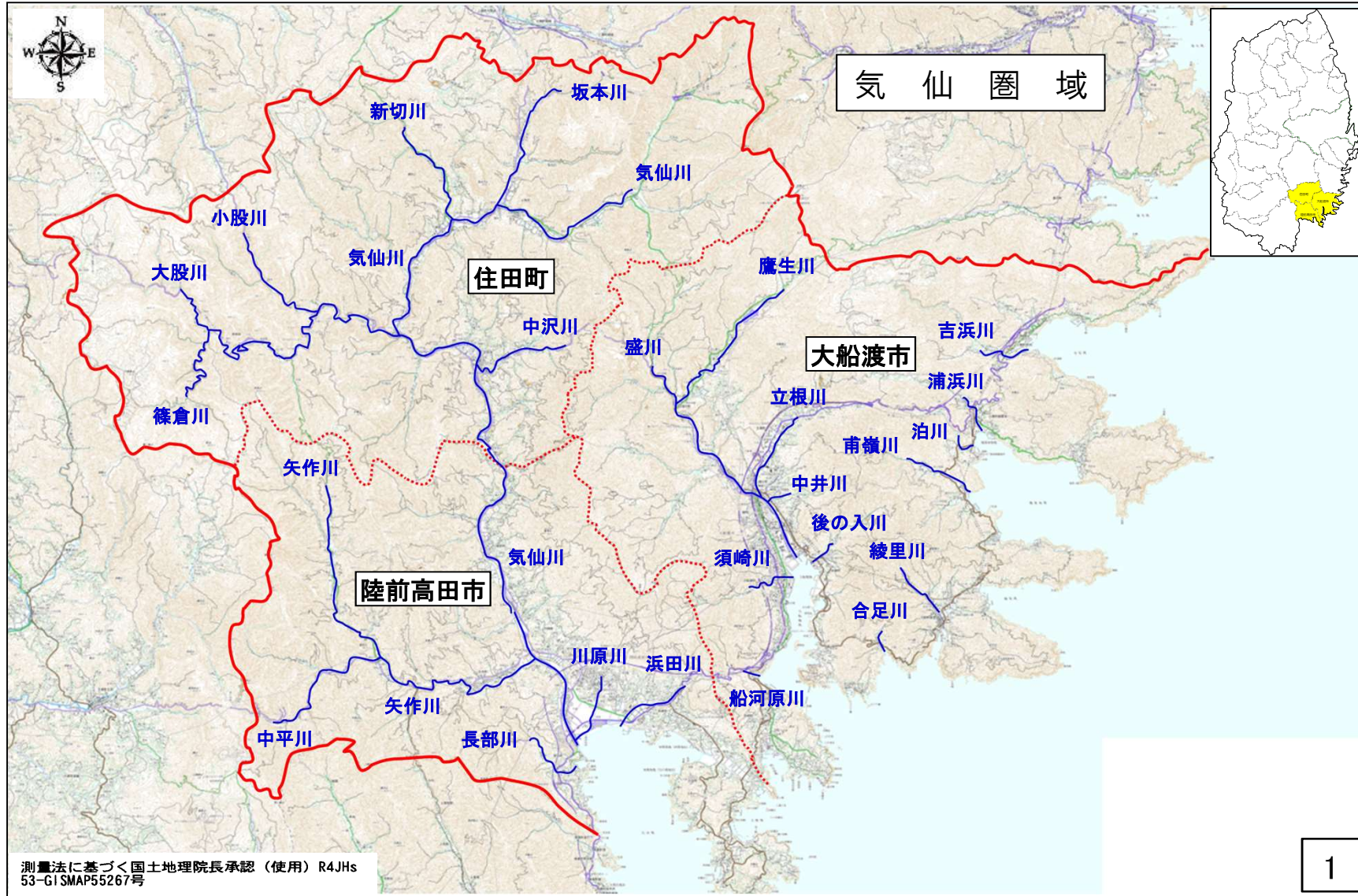
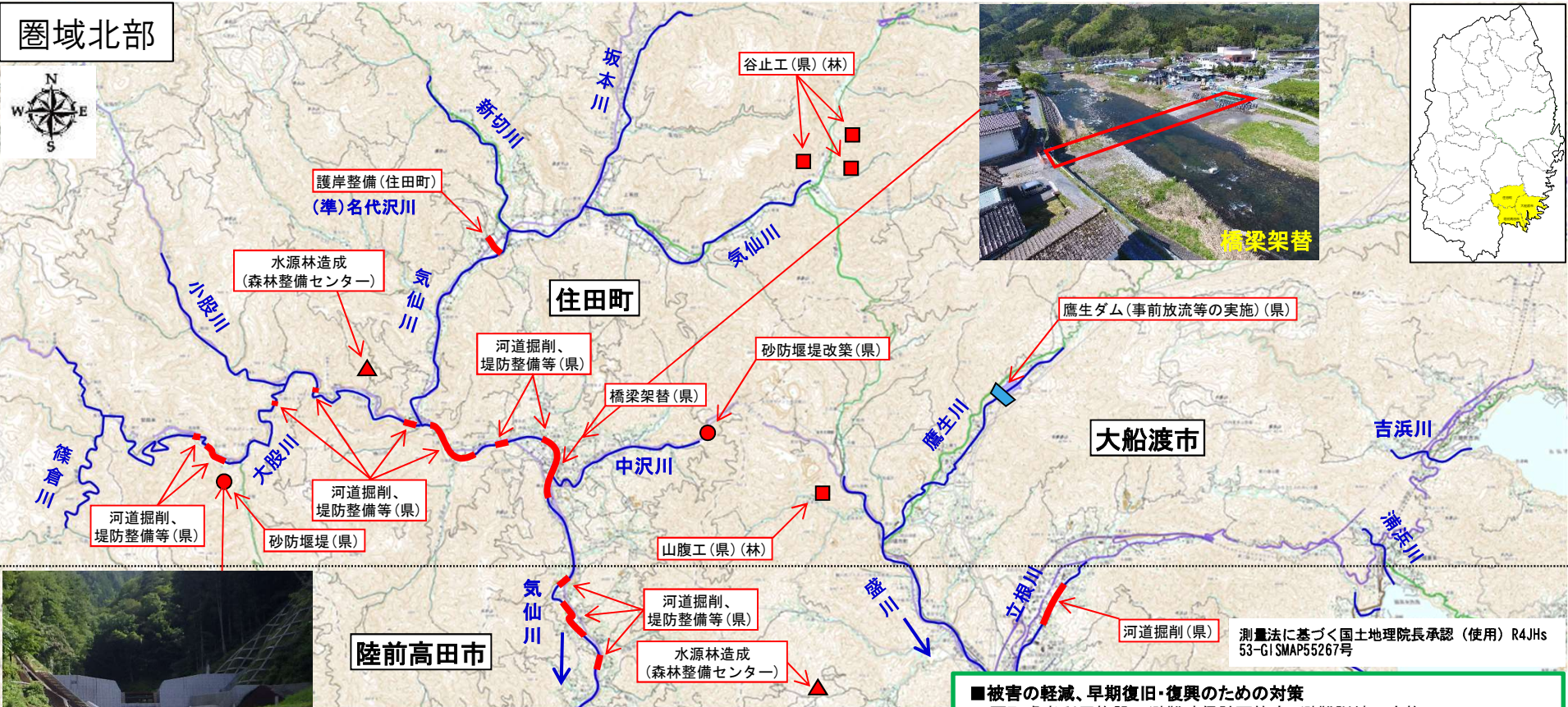


○平成28年台風10号や令和元年東日本台風により、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、気仙圏域において事前防災対策を進める必要があることから、圏域内河川の河道掘削や堤防・護岸整備及び橋梁架替により洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林等の整備によるハード対策のほか、避難のためのソフト対策に継続して取り組み、流域全体が一体となり浸水被害の軽減を図る。



○平成28年台風10号や令和元年東日本台風により、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、気仙圏域において事前防災対策を進める必要があることから、圏域内河川の河道掘削や堤防・護岸整備及び橋梁架替により洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林等の整備によるハード対策のほか、避難のためのソフト対策に継続して取り組み、流域全体が一体となり浸水被害の軽減を図る。

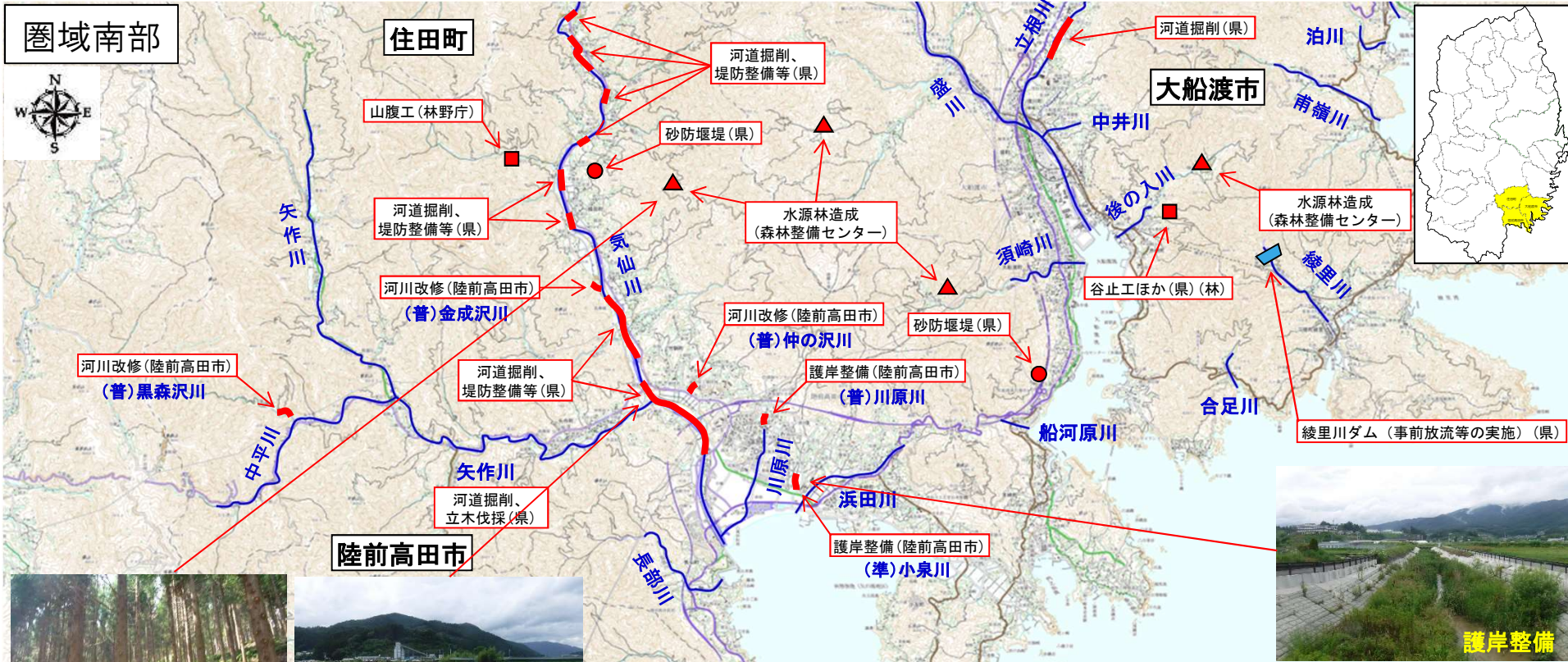


- 凡例
- 河道掘削・河川改修・橋梁架替 等
 - 砂防堰堤 (対策済含む)
 - 治山施設等 (対策済含む)
 - ▲ 森林事業等
 - 治水ダム (運用中)

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策【県・市町】
 - ・河道掘削、堤防整備、護岸整備、橋梁架替、既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築等
 - 集水域での対策【国、県、市町、民間等】
 - ・土砂災害対策(砂防堰堤整備等)、治山対策
 - ・森林整備

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定、避難訓練の実施【大船渡市・陸前高田市・住田町】
 - ・洪水・土砂災害ハザードマップの更新【大船渡市・陸前高田市・住田町】
 - ・水位周知河川運用【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・ホットライン、タイムライン運用【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・河川情報の充実(危機管理型水位計等設置・活用等)【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・防災マイスター養成講座の開催【陸前高田市】
 - ・防災気象情報の利活用に関する普及・啓発活動【気象台】
 - ・適時的確な防災気象情報の発表【気象台】
 - ・気象予測の高度化【気象台】

○平成28年台風10号や令和元年東日本台風により、各地で洪水が発生し甚大な被害が発生したことを踏まえ、気仙圏域において事前防災対策を進める必要があることから、圏域内河川の河道掘削や堤防・護岸整備及び橋梁架替により洪水を安全に流すとともに、流域における砂防施設、治山施設、森林等の整備によるハード対策のほか、避難のためのソフト対策に継続して取り組み、流域全体が一体となり浸水被害の軽減を図る。



- 凡例
- 河道掘削・河川改修・橋梁架替 等
 - 砂防堰堤 (対策済含む)
 - 治山施設等 (対策済含む)
 - ▲ 森林事業等
 - 治水ダム (運用中)

- 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策
- 河川区域での対策【県・市町】
 - ・河道掘削、堤防整備、護岸整備、橋梁架替、既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築等
 - 集水域での対策【国、県、市町、民間等】
 - ・土砂災害対策(砂防堰堤整備等)、治山対策
 - ・森林整備

- 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策
- ・要配慮者利用施設の避難確保計画策定、避難訓練の実施
 - 【大船渡市・陸前高田市・住田町】
 - ・洪水・土砂災害ハザードマップの更新【大船渡市・陸前高田市・住田町】
 - ・水位周知河川運用【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・ホットライン、タイムライン運用【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・河川情報の充実(危機管理型水位計等設置・活用等)
 - 【大船渡市・陸前高田市・住田町・県】
 - ・防災マイスター養成講座の開催【陸前高田市】
 - ・防災気象情報の利活用に関する普及・啓発活動【気象台】
 - ・適時的確な防災気象情報の発表【気象台】
 - ・気象予測の高度化【気象台】

○気仙圏域では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町、住民や民間企業等が一体となり、以下により「流域治水」を推進する。

【短期】 ハード対策として、河道掘削や築堤、橋梁架替等の河川改修や、砂防堰堤、治山施設等の整備を実施。
ソフト対策として、要配慮者利用施設の避難確保計画の策定や避難訓練を促進するほか、民間企業と災害協定を締結し要配慮者の避難支援体制の強化を図る。また、洪水・土砂災害ハザードマップの更新・周知や水位周知河川の運用に加え、ホットライン、タイムラインの活用、防災マイスター養成等による防災体制の強化を図る。

【中長期】 ハード対策として、引き続き河川改修及び森林整備等による流出抑制を図るとともに、河道の堆積土砂除去等、施設の適切な維持管理を行う。

ソフト対策として、各対策の運用の継続やフォローアップを実施し、防災体制の改善・強化を図る。

※気仙圏域では短期の期間を概ね5年、中長期はそれ以降としています。

【凡例】 **破線** 事業中、取り組み中 **実線** 完了後の維持管理、フォローアップ等

区分	対策内容	実施主体	工程	
			短期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐための対策	河川改修（河道掘削、堤防整備、護岸整備、橋梁架替等）	県・市町		
	砂防堰堤整備	県		
	治山対策	国・県		
	森林整備	国・県・市町・民間		
被害の軽減・早期復旧・復興のための対策	要配慮者利用施設の避難確保計画策定、避難訓練の実施	市町・民間		
	洪水・土砂災害ハザードマップの更新	市町等		
	水位周知河川・ホットライン・タイムラインの運用	県・市町		
	河川情報の充実（危機管理型水位計等設置・活用等）	県・市町		
	防災気象情報の利活用に関する普及・啓発活動	気象台		
	適時的確な防災気象情報の発表	気象台		
	気象予測の高度化（次期気象衛星の整備、数値予報モデルの改良等）	気象台		